

通信コマンドについて

機能	コマンド	電源側動作内容
設定確認	#Q	<p>現状の設定を返信する</p> <p>①リモートモードでない場合は#Lを返信 ②リモートモードで常時点灯の場合#C__x x x__zを返信 ③リモートモードでフラッシュ点灯の場合#F__x x x__y y__zを返信</p> <p>x x xは000~255、y yは00~15、zは0 or 1 (z=0:EEPROM書込みなし、z=1:EEPROM書込みあり)</p>
リモート常時点灯設定	#C__x x x__z	<p>モードを常時点灯、光量x xに設定し、#A返信(常時点灯を行う) すでに常時点灯の場合は光量x x xに変更して#A返信 (外部トリガでの#Aの返信はしない)</p> <p>x x xは000~255、zは0 or 1 (z=0:EEPROM書込みなし、z=1:EEPROM書込みあり)</p>
リモートフラッシュ点灯設定	#F__x x x__y y__z	<p>モードをフラッシュ点灯、光量x x x、フラッシュパルス幅y y段階に設定し、#A返信(発光そのものはリモートフラッシュコマンド#Xもしくは外部トリガ信号入力まで待つ)</p> <p>x x xは000~255、y yは00~15、zは0 or 1 (z=0:EEPROM書込みなし、z=1:EEPROM書込みあり)</p>
リモートフラッシュ	#X	設定されている光量、パルス幅でフラッシュ1発発光して#A返信
エラー		規定外コマンド受信時、コマンドの返信なし
ソフトバージョン確認	#V	<p>マイコンソフトのバージョンNo. を返信する #Vを受信すると#VXXXを返信する XXXはバージョンNo. を示す</p>

(注1) フラッシュ点灯後のトリガ無視時間は16mSとする。

(注2) トリガ出力は外部トリガとフラッシュテスト入力両方をサポート。

(注3) すべてのコマンド列の最後にはCR(キャリッジリターン)を付ける。

(注4) __はスペースを示す。

(注5) すべてのコマンドはASCIIコードとする。